

デジタル田園都市国家構想交付金を 活用した新たな事業について

デジタル田園都市国家構想交付金について

「デジタル田園都市国家構想」（※）の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、従来の「地方創生推進交付金」、「地方創生拠点整備交付金」、「デジタル田園都市国家構想推進交付金」が統合され、令和5年度より「デジタル田園都市国家構想交付金」が創設された。

デジタル田園都市国家構想交付金

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、他の地域等で既に確立されている優良モデル等を活用した実装の取組や、オープンなデータ連携基盤を活用するモデルケースとなり得る取組、地方への新たなひとの流れを創出する取組等の費用に充てるため、又はデジタルの活用などによる地方創生に資する取組や拠点施設及び道・污水处理施設・港の整備等を支援する。

地方創生推進タイプ[°]

（旧：地方創生推進交付金）

地方創生拠点整備タイプ[°]

（旧：地方創生拠点整備交付金）

デジタル実装タイプ[°]

（旧：デジタル田園都市国家構想推進交付金）

※デジタル田園都市国家構想：

テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住みながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を船長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。

官民連携の伴走型サポートによる移住・定住促進センター事業

タイプ	事業類型	単独/広域	事業年数	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	単独	3年	実施計画No.32 (仮称) 定住促進センター事業

事業概要

個人店舗が多い桐生市の特徴や空き店舗を活用した店舗開業者などが増えてきているという近年の状況を踏まえ、起業希望者・店舗開業希望者などをメインターゲットとする「移住・定住に関するワンストップ窓口」を設置する。

移住コーディネーターを配置し伴走型支援を行うとともに、きりゅう暮らしの魅力を伝えるウェブサイトの創設や、交流人口・関係人口の拡大に向けたイベント等の開催により、本市の魅力を戦略的に発信する。

主な取組

- ①ワンストップ窓口運営事業
 - ・移住コーディネーターを配置
 - ・電話、メール、オンライン、対面による相談
 - ・補助金等の案内 等
- ②ワンストップ情報発信
 - ・専用ウェブサイトの構築 等
- ③イベント等開催
 - ・関係人口・交流人口の拡大を目的とした取組の実施
 - ・移住・定住イベント等への出展 等

年度	交付対象事業額（千円）	交付額[1/2]（千円）
R5	24,168	12,084
R6(予定)	22,292	11,146
R7(予定)	22,292	11,146



KPI (重要業績 評価指標)	目標値			
	現時点	R5年度	R6年度	R7年度
社会増減数（人）	-560	-500	-430	-350
本事業によって店舗開業・ 起業・就農を伴う移住をし た人数（人）	0	3	8	13
移住・定住に関する相談 件数（件）	128	178	193	208
ポータルサイトへのアクセス 数（件）	0	10,000	15,000	20,000

多様な交流が生み出す地域の活性化

タイプ	事業類型	単独/広域	事業年数	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	広域 ※群馬県(代表)、東吾妻町との連携事業	3年	実施計画No.16「伝統産業保護育成事業」 実施計画No.18「地場産業振興センター事業」

事業概要（全体）
群馬県は、人口減少・高齢化が進むとともに、産業のデジタルシフトにより新たな価値の創出が不可欠となっている。その中で、自然豊かな群馬県の強みである観光産業や農畜産物等を生かした新たな価値を創出し、将来にわたっても県内人口を維持し、県内所得を成長させる取組が求められている。そのために、誰もが集い、交流し、にぎわいが創出される場所を県庁舎31階に新たに設け、新たな価値を生み出し、この波及効果を全県にもたらすことで、群馬県の持続的な成長を目指す。
主な取組（桐生市分）
桐生市は、交流事業として、群馬県の特徴的な地場産業である繊維産業のPRを行う。事業実施に当たっては、群馬県も全面的な支援を行うとともに、情報発信でも連携を図っていく。 ・繊維産地桐生で製造された和装製品を、国内において宣伝するための展示会開催 ・和装関連商品に若い世代の感覚を取り入れるため、県下のデザイン科等を有する学校を中心に基本デザインの公募を行い、試作品を開発 ・トレンド等の勉強会を実施し、各繊維企業が自己の技術を駆使した来季向けの新製品開発や統一コンセプトによる新たな繊維製品開発を行い、アパレル産業の集積地である東京で展示商談会を開催 ・織物資料（生地見本等）をデジタル化し、活用することで広く桐生市の繊維産業をPR

年度	交付対象事業額（千円）	交付額[1/2]（千円）
R5	12,322（151,220）	6,161（75,610）
R6(予定)	14,960（198,148）	7,480（99,074）
R7(予定)	14,960（198,148）	7,480（99,074）

※（）内は全体の雄額



KPI （重要業績 評価指標）	目標値			
	現時点	R5年度	R6年度	R7年度
一人あたり県民所得（万円）	329.80	340	350	360
県庁舎31階来場者数（人）	0	10,000	20,000	30,000
県庁舎31階から発信される広報の取組件数（件）	0	52	109	171
県庁舎31階マルシェ&キッチンへの出展件数（件）	0	100	120	140

※群馬県実施事業に関するKPIである